



2022年第2 四半期 連結決算概要

2022年8月10日

2022年第2四半期 連結決算概要

	2021年2Q		2022年2Q		2022年通期	
	実績	進捗	実績	前期比	予想	進捗
売上高	191.1億円	50.5%	200.9億円	+5.1%	400.0億円	50.2%
営業利益	7.8億円	69.7%	5.3億円	△32.0%	11.5億円	46.2%
経常利益	8.6億円	66.5%	7.0億円	△18.7%	13.0億円	54.1%

※2021年2Qの「進捗」は前年の通期実績に対する進捗を計算しています。

2022年2Qの状況

- 販売費及び一般管理費の増加に伴う営業利益の減少
 - － 4月に実施したベースアップ、インドにおける新工場の稼働準備等に伴う人件費の増加
 - － 輸送費の高騰における支払運賃の増加
 - － 新型コロナウイルス感染症に関連する各種制限の緩和による旅費交通費等の増加
 - － 子会社買収に伴う費用の増加
 - － 今後の企業成長を見据えた各種投資商品供給については、今年中は深刻な状況が続く見込み。調達が可能ない時期に仕入れ、在庫を確保

2022年第2四半期 セグメント別概要

環境機器関連事業

	2021年2Q	2022年2Q		2022年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	101.1億円	104.9億円	+3.7%	198.0億円	53.0%
セグメント利益(営業利益)	9.2億円	8.2億円	△11.2%	15.4億円	53.4%
参考：経常利益	10.2億円	8.8億円	△13.3%		

2022年2Qの状況

- 国内売上：大型工事案件の進捗状況の影響により減少
- 海外売上：イラク・インドネシアでの大型案件の完成、スリランカの販売拡大により増加
- スtock売上：契約数も増加し、堅調に推移
- 輸送費や各種資材の高騰や規制緩和に伴う交通費の増加、インド新工場稼働に伴う教育のための工場要員の先行採用によって費用が増加したことによって、利益率は減少

参考情報

- スリランカ
 - －輸送費を削減することを目的としてスリランカ国内に小型浄化槽の組立工場の建設を開始
 - －工場建設は完了に向かって進捗していたものの、2022年7月のスリランカ破産宣告により稼働開始時期について検討中
- インド
 - －インド国内の浄化槽需要の増加および輸送費の高騰に伴う現地生産の強化（新工場では2022/10～11より製品出荷開始）
 - 委託生産工場：生産能力：20台/月から30台/月 へと増強済み / 生産品目：カプセルタイプ浄化槽（従来と同様）
 - 新工場： 生産能力：当初30台/月（将来的には60台/月へ） / 生産品目：稼働当初は、インドネシア工場にて製造・輸入している大型槽を中心

2022年第2四半期 セグメント別概要

住宅機器関連事業

	2021年2Q	2022年2Q		2022年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	82.0億円	81.4億円	△0.7%	175.0億円	46.5%
セグメント利益(営業利益)	2.9億円	2.2億円	△23.1%	5.5億円	41.6%
参考：経常利益	3.5億円	2.8億円	△19.8%		

2022年2Qの状況

- 前期に需要が多かった非接触商材の需要は一巡
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各メーカーの出荷制限により、商品供給に遅延
- ホームセンターの店舗建築案件の完成、農業用ハウスの設備投資需要の回復
- 利益率の高い冷凍・冷蔵・空調設備工事について、前期と同等の高利益案件がないことからセグメント全体の利益率に大きく影響

参考情報

- 商品供給については、今年中は深刻な状況が続く見込み。調達が可能ない時期に仕入れ、在庫を確保
- 当事業においても、各種商品の値上げは発生（3Q以降に影響見込み）。販売価格への転嫁については各案件において交渉を実施

2022年第2四半期 セグメント別概要

再生可能エネルギー関連事業

	2021年2Q	2022年2Q		2022年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	4.6億円	11.3億円	+142.5%	21.0億円	54.0%
セグメント利益(営業利益)	0.7億円	1.2億円	+60.0%	2.7億円	45.1%
参考：経常利益	1.0億円	1.5億円	+55.6%		

2022年2Qの状況

- 太陽光：太陽光関連施設の提案から保守まで対応可能な子会社を昨年買収し、売上は大きく増加。しかし、利益率は従来はFITによる売電が主であったことから減少
- 小形風力：FITによる売電施設について5サイト増加し、17サイト稼働
- BDF：軽油に当社製品を5%混合したB5軽油の契約数増加

参考情報

- 太陽光：買収した子会社を中心としたPPAモデルへの展開。荒廃農地を活用した農業・福祉・エネルギーを連携させた新たな取組
- 小形風力：FITによる売電施設について、2025年までに70サイト稼働に向けて推進。環境省の実証事業に参画し、純国産の50kW風力発電機の開発・普及へと取組
- BDF：製造プラントのある愛媛だけでなく、需要の多い関東地方での事業展開を検討中

2022年第2四半期 セグメント別概要

その他の事業

	2021年2Q	2022年2Q		2022年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	3.2億円	3.1億円	△4.3%	6.0億円	52.6%
セグメント利益(営業利益)	0.6億円	0.2億円	△67.8%	0.1億円	108.5%
参考：経常利益	0.5億円	0.1億円	△78.9%		

2022年2Qの状況

- ボトルウォーターの契約数は減少、水道直結型のウォーターサーバーの契約数は増加
- 水道直結型のウォーターサーバーの契約数増加に対応するために専門の人員を先行投資していることから利益率は減少しているが、今後の売上増加に伴って正常化

参考情報

- 営業活動については、いずれも愛媛・広島地区にて実施
- 水道直結型ウォーターサーバーについては、認知度向上施策を今後展開

インド新工場の建設状況

完成予想写真



2022年7月末時点の状況



新工場にて製造予定の円筒型浄化槽



委託工場にて製造しているカプセル型浄化槽

